学校番号	１０１２

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	総合プログラミング	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	無し						
副教材等	無し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業はパソコンを使用しますので必ずIDとパスワードを持ってくるようにしてください。
「総合プログラミング」では小中学校でも始まったプログラミングの知識を体験的に学んでいきます。授業ではプログラミング言語であるVisual Basicを学びながらプログラムを作成し、プログラムの動作、作成の仕方などを学習していきます。
　プログラミングを学ぶ関係上基礎的な数学の知識などが求められる事も多いため､授業を履修しようと考えている人は注意してください。

2　学習の到達目標

１．プログラミングとは何かを理解し、基礎的なプログラムの作成方法を習得する。
２．状況に応じての適切な命令の選択などを学習し、プログラミングを通して論理的な思考、判断力を身につける。
３．必要に応じたプログラミングを考え､適したプログラミングになるよう主体的に創意工夫する姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プログラミングに関する基礎的な知識・技能の習得から実践的なプログラム作成を通して、課題などに応じて的確にプログラムを作成できる知識・技能が習得できている。	社会に出たときに必要に応じてプログラムを事故で作成する事を目指し、プログラムを作成する際の状況や求められる条件の元、プログラムの作成する方法・手段を選ぶために必要な思考力・判断力などが身についている。	科目の最終目的である自身での必要に応じたプログラミング作成能力の習得のために、日々の課題に主体的に取り組み、自らプログラム作成に創意工夫できる部分があるかを考えて学習に取り組んでいる。
評価方法	個人での課題作成 授業内テスト	個人での課題作成 授業内テスト	教科担当者の指導の元行う例題作成 授業に取り組む姿勢

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に１０段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	プログラミング入門	(1) プログラミング入門 ● ボタン ● プロパティ ● イベント ● メソッドの使用 ● 文字・数値・日付 ● ビルド ● 開発環境	a:プログラミングにおける入門的な知識・技能を日々の授業において学習し、課題において身に着けた技術を活用して課題作成を行っている。 b:入門的な知識を学んでいく中で、その知識の必要性や状況に応じた的確な判断を課題作成の際に行えている。 c:毎回の授業において行う例題作成などにおいて自ら主体的に考え、意欲的に試行錯誤をしている。	個人での課題作成 授業内テスト	個人での課題作成 授業内テスト	教科担当者の指導の元行う例題作成 授業に取り組む姿勢
2学期	プログラミング基礎	(2) プログラミング基礎 ● 変数 ● 条件判断 ● 繰り返し ● イベントプロシージャ ● メソッドの作成	a:プログラミングの基本である順次・選択・繰り返しの三つを理解し、その為に必要な各プログラム作成方法を活用して課題作成を行っている。 b:複数の作成方法がある条件判断や繰り返しなどのプログラム作成において、求められる処理などから的確にどのプログラムを使用するか判断が出来ている。 c:毎回の授業において行う例題作成などにおいて自ら主体的に考え、意欲的に試行錯誤をしている。	個人での課題作成 授業内テスト	個人での課題作成 授業内テスト	教科担当者の指導の元行う例題作成 授業に取り組む姿勢

3学期	プログラミング応用	(3) プログラミング応用 ● 配列 ● コレクション ● 値と参照 ● クラス作成 ● プロパティ作成 ● 列挙体	a:実践的なプログラムの作成を通じて効率的なプログラムの作成、他者から見て判読しやすいプログラムの作成などが行えている。 b:複雑なプログラムの作成において様々な作成方法がある中から最も効率的で見やすいプログラム方法を選択できている。 c:日々の課題作成において根気よく主体的に課題を作成し、プログラムの改良するべきポイントの発見などを意欲的に行っている。	個人での課題作成 授業内テスト	個人での課題作成 授業内テスト	教科担当者の指導の元行う例題作成 授業に取り組む姿勢

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度